

サンフラワー

豊田発！国際ボランティア情報誌

SUNFLOWER

2006.1.1(季刊)
ISSN 0915-1710

No.91

国際ボランティア最前線

VOLUNTEER TALK

ポスト万博の動き

～愛・地球博の夢、希望、思いをかたち～

トヨタボランティアセンターの試み

愛・地球博の閉幕から早4か月。ボランティアとして参加した多くの人たちは、その経験を懐かしく、また、何らかの形で継続したいと思っているだろう。そんな中、地元豊田市にあるトヨタボランティアセンター(以下「TVC」)では、万博ボランティア経験のあるトヨタの社員が、その経験を今後のボランティア活動に活かせるようにとの思いから、一つのグループを立ち上げようとしている。その経緯と今後の展望をセンター長、鈴木氏に伺った。



センター長の鈴木さん

トヨタの社員約900人がボランティアに参加。そのうち約600人の社員・OBを対象に行ったアンケートの結果、156人が継続して何かをやりたいという気持ちを持っていることが判明。「この156人の気持ちを大切にしたい」というTVCの強い思いのもと、プロジェクトは本格的に動き出した。ポスト万博ボランティアの構想は万博が始まる前からあり、会期中もどうしたら経験を今後活かすことができるか頭を悩ませていたという。とは言っても156人の思いをかたちにするのは容易ではない。まずは主要メンバーを選出し意見交換会を重ね、個々の希望や夢を大切にしながら、分野別にグループに分けていく。そして将来的には地域のNPOに繋がったり、シニアボランティアとの連携も視野に入れているなど、地域の活動に結び付けていく、つまり最終的には、企業ボランティアの枠を超えてまちづくりにボランティアの力を活かしていきたいという熱い思いがあるという。今は2回目のミーティングが終わったばかりだが、これから万博を契機に生まれた様々な「思い」が「かたち」となり、地域に花咲く

ことだろう。

その側面支援を行うのがTVCであるが、中でも一番大切なのは人の「思い」である。どうやってボランティアに興味のある人の心を引っ張り出せるか、どうやってその人の秘めたる能力を発掘していくか、そして事務局であるTVCも楽しみながら支援していくということも忘れてはならないと鈴木氏は言う。ボランティア活動に大切なのは、横の繋がりの仲間意識と目的意識、つまり、いい仲間とめぐり合い、その仲間に対等な立場で思いをきちんとぶつけていくこと。

今後は企業を始め様々な業界で地域貢献活動が謳われる時代になるだろう。鈴木氏によると、企業の社会貢献の評価は金額だけではなく「社員一人ひとりが地域のためにどれだけ汗を流したか」だと言う。ひとり一人の意識や活動の姿が見えてこそボランティアなのである。

万博ボランティアという横糸で繋がった人たちが、これからどんな縦糸を編みこんでいくのか楽しみである。(構成/久保浩美)

組織プロフィール:社員(家族・OB含む)が明るく・楽しく・安心してボランティア活動に参加できるようにトヨタ自動車(株)の社内を設置。ボランティア活動への理解を深める機関誌の発行、ボランティア活動の紹介と拡大に務める。20ヶ所の工場・事業所にも支援窓口を設け、社員の活動を支援しながら、地域との関わりを深めている。



ここから始まるボランティア活動～TVCのオフィスとスタッフ

身近な国際交流～ホームステイ受入れ

「外国の人々とゆっくり話をしてみたい」「友達になりたい」と思ったことはありませんか？ホームステイはそのような想いが実現できる身近な国際交流のひとつです。去年は万博開催の年ということもあり、海外からより多くの人々がこの豊田を訪れ、TIAでは例年より多くのホームステイを受け入れました。

TIAボランティアグループ「オープンハート」

「ホームステイには興味あるけどどうすればいいの？」と思っている人は少なくありません。心配無用、TIAには「オープンハート」というホームステイのコーディネートを行っているグループがあります。コーディネートの内容はホストファミリーの募集から、事前説明会、受入れ後の報告会までと多岐に渡ります。さらにゲストの受入れ中に歓迎パーティなどのイベントを開催することも。とにかくホームステイについてはおまかせ、それがオープンハートです。ホームステイに興味のある方、オープンハートはいつでも心の扉を開けてあなたを待っています。

Up With Peopleのホームステイ受入れ

TIAでは去年9月アメリカにある非営利国際教育団体Up With People (UWP)の受入れを行いました。オープンハートと協力して、約50名のUWPメンバーのホストファミリーの募集から受入れ後の報告会まで無事にやり遂げることができました。



Up With Peopleによるショー

生活を共にする

ホームステイにより、日本の生活や文化について外国人ゲストがどのような考えを持っているのか、逆に相手や相手の国についてもより深く知ることができます。ゲストの受入れ中は本当に色々なことがあります。楽しいことや嬉しいことだけでなく、生活習慣や文化の違いから起こるハプニングもきっとあるでしょう。その時、相手のことが分からなくなったり嫌いになりかけるかもしれません。しかし、相手を理解しようとお互いが努力することで、そんな気持ちは自然と消えているはず。そして自然と友情が生まれ、それはホームステイ終了後も続くことになるでしょう。感動を共有できる国際交流、それがホームステイです。

(構成 / 兵藤隆裕)



ホームステイ中の楽しい思い出

「愛・地球博」豊田市フレンドシップコーナー(その7)

～万博閉幕後の動きとその後～

2005年9月25日に愛・地球博は盛会のうちに閉幕しました。しかしフレンドシップはこれで終わりではありません。万博をきっかけとして築いてきた市民主体の国際交流やボランティア活動を継続していくために、2006年3月24日(金)25日(土)に「未来へつなげよう愛・地球博10か国フレンドシップ・フェスティバル&地球市民村inあすて」を行います。24日は10か国の大使・領事を豊田市に招聘し、国際交流・環境・教育問題等様々なテーマで、公開形式の情報・意見交換会を行います。25日は地球市民村inあすてと鞍ヶ池公園にてフレンドシップ10か国記念交流会を行ないます。広報とよやチラシで詳細をお知らせし、ボランティア募集も行います。是非皆さんご参加下さい!!

(構成 / 塚本江美)



今では懐かしい万博会期中の写真

☆ TIAとTIAボランティアの活動報告 ☆

10月

- 1日 アップウィズピープル反省会 TIA
[ホストファミリーを交えた反省会 27人]
- 5日 韓国・朝鮮語入門講座開講 TIA
[毎週水曜日午後開催。全8回の講座。20人]
- 8日 日本語講座後期開講式 TIA
[62人が登録。初中級と中級クラスの受講者が増加傾向]
旭中学校生徒対応 ほづみ会
[国際協力に関心を持った生徒が総合学習の一環で来訪。ボランティア活動のインタビューを実施]
- 11日 豊田地域看護専門学校での研修運営 TIA
[看護師候補生を対象に豊田の多文化共生社会を考える研修を実施 事務局2人]
- 12日 日本語サロン開講式 日本語サロン
[73人が登録。託児ルームは定員10人過で抽選に]
- 15日 ドメスティックバイオレンス(DV)講座
[外国籍女性でDV被害者支援のための基礎知識と窓口業務のポイントを学ぶ。全6回 事務局1人]
- 16日 05年度第3回代表者会議 TIA
[活動の近況報告と今後の予定を共有 13人]
- 17日 外国人集住都市会議ブロック会議
[愛知・三重ブロック会議に出席 事務局1人]
- 23日 第2回青少年国際交流サッカー大会 TIA
[豊田市及び近隣の子どもが参加。300人]
- 26日 一市町村一フレンドシップ事業に関する情報会議(第4回)
[フレンドシップ事業の総括、記録映画の上映など 事務局1人]
国際交流連絡会議
[フレンドシップ事業の事例報告、今後の国際交流活動について意見交換 事務局1人]
- 27日 豊田地域看護専門学校での研修運営 TIA
[2年生を対象とした研修を、医療支援グループの協力を得て実施 事務局3人]
- 29日 アイシン精機さわやかふれあい講座第1回「タイの食文化交流から支援交流へ」ほづみ会
[タイ人講師の指導でタイ料理づくりに挑戦。その後中野穂積氏を交えた交流 35人]

- 4日 東保見小学校視察
[文部科学省のセンター校となった小学校の研究発表を視察 事務局3人]
- 10日 外国人集住都市会議～四日市市視察
[外国人集住地区の小学校と公営団地を視察 事務局1人]
- 11日 外国人集住都市会議よっかいち2005
[外国籍の子どもを取り巻く現状や教育問題をテーマにしたシンポジウム 事務局3人]
国際理解教育プログラム相談 TIA
[竜神中学校へ中国出身の講師2人を派遣。食文化の講演と中国料理の実習を行なう]
- 18日 愛・地球博10か国フレンドシップ・フェスティバル開催発起人会 TIA
[3月24、25日のフェスティバル開催に向け、関係者が意見交換 25人]
- 20日 外国人児童生徒健康診断会 医療支援グループ
[外国籍の子どもを対象に保見団地で実施。48人の子どもが受診。86人]
- 23日 アイシン精機さわやかふれあい講座第2回「留学生ふるさと講座」留学生支援
[パラグアイの家庭料理作り・国の紹介など、留学生の出身国に触れる講座 21人]

12月

- 3日 国際理解教育セミナー「世界がもし100人の村だったら～05年版」 TIA
[共生社会実現のための国際協力・国際理解についてのワークショップを開催 22人]
- 4日 Alpha開講式 Alpha
[式の終了後、餅つきで交流し05年を締めくくる 100人]
- 10日 英語サロン E-IFP
[英語によるタイ料理の紹介と試食会 30人]
スペイン語通訳派遣 TIA
[保護者参観を行なう市内保育園の要請により、スペイン語通訳を派遣。事務局1人]
- 15日 出入国管理行政意見交換会
[名古屋入国管理局主催の会議。多文化化する社会と入管法の制度について意見交換 事務局1人]
- 20日 愛・地球博記念10か国フレンドシップ・フェスティバル第1回実行委員会
[3月24、25日の開催に向け、参加団体の代表者による意見交換 33人]

11月

- 1日 フレンドシップ事業推進委員会 TIA
[フレンドシップ事業全体報告とフレンドシップ・フェスティバルについての協議 31人]
- 2日 万博ホームステイボランティア報告会
[名古屋国際センターで行なわれた会議にオープンハートのボランティアと出席 事務局1人]

異文化 丸かじり

豊田と中国に架かる橋～
「華豊の友」



水餃子作り。皮から作る本格派です。

「華豊の友」はあすてを拠点に活動するボランティアグループです。「多くの人から受けた親切や思いやりのお礼に、中国のことを知ってもらい交流が生れる場を創りたかった。」と語るのは、あすてのスタッフでグループの立上げに関った楊林さん。その想いは「中国人と豊田市民の友好の輪が広がるように」というグループ名からも伝わってきます。

メンバーの特技を生かして企画する中国文化講座は、水餃子作りや静物画の体験など興味深いものばかり。毎回多くの参加者があると同時に、中国人メンバーの子どもが母国の文化に触れる大切な機会にもなっています。「中国文化に興味のある方はぜひ足を運んでください。日本のことももっと教えて下さい。」と代表の叶建明さん。名古屋には中国総領事館



静物画にチャレンジ!

が開設され、この地域と中国の関係はより密接になっている現在。それを支える彼らは、地域でも豊かな市民交流の花を咲かせています。

(構成 / 白井彩絵)

活動場所:(財)あすて(豊田市本町本竜43)
毎月第2日曜日午後

エスニック探検隊

外国人の心のオアシス
「豊田ホープチャペル」 豊田市高上町1-8-12
☎:0565-80-7520



チャペルの外観

赤く光る十字架が目印のここ「豊田ホープチャペル」は国際色豊かなプロテスタント教会だ。賛美の歌や牧師さんの心温まるお話を聞く礼拝は、週末になると英語・タガログ語・ポルトガル語でも行われ、様々な国の人が集まる場となっている。ここ豊田市には外国の人が多く、文化・習慣の違いに皆戸惑いを感じているそうです。「皆ここで友人になり、いろいろな話をして心が癒されるのです」と語るのは、自身も結婚でマレーシアから来日した山口メディナさん。

彼女は英語礼拝を担当し、子育てや仕事で悩みを抱えている人の良きアドバイザーとなっている。また、このチャペルの特徴はなんと言ってもアットホームなところ。バーベキュー大会やクリスマスパーティの他にも、ゆかた礼拝などのユニークなイベントも盛りだくさん。宗教・国籍問わずwelcome!なので、気軽に参加してみよう。

(構成 / 河合直美)



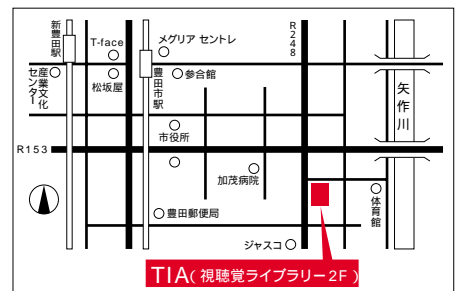
礼拝の様子



メディナさん

編集後記

新年明けましておめでとうございます。私も今年でよいよ30歳。20代の頃より少しでも仕事ができかっかわいい人間にこれから10年かけてなれればと思います。そして40歳になったときには一人前の「ちょい不良(ワル)オヤジ」!?(兵)



2006年1月1日発行(3,000部季刊)
編集・発行 財団法人豊田市国際交流協会(TIA)
〒471-0023 豊田市拳母町3-59
TEL(0565)33-5931 FAX(0565)33-5950
E-mail:tia@hm.aitai.ne.jp 月曜休
〔ホームページ〕 http://www.tia.toyota.aichi.jp/